

東京女子医科大学雑誌

JOURNAL OF TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY

■総説

内視鏡外科手術における研究と治療の進歩

(4) 内分泌外科領域……………飯原雅季…187-192

(5) 婦人科領域……………橋本和法…193-199

最終講義 ホルモン測定 of 進歩と共に

—症例から教えられた臨床内分泌学—……………小田桐恵美…200-207

■原著

バルク高温超電導磁石を用いた磁気誘導ドラッグデリバリーシステムの
集積制御の可能性検討……………入澤 覚・村垣善浩・

伊関 洋・富田 優・西嶋茂宏…208-215

集束超音波治療の時間短縮を目指した

トリガーパルス併用照射法の評価……………和田章秀・阿部信隆・

仲本秀和・鈴木孝司・村垣善浩…216-221

近赤外線分光装置を用いた維持血液透析患者の

骨格筋酸素消費量について：血液透析前後での比較……………荒井純子・

市村志朗・長田卓也・安達 拓・勝村俊仁・

宮川三平・木全直樹・秋葉 隆・新田孝作…222-228

■報告

IgA腎症と細胞性半月体を伴う管内増殖性糸球体腎炎合併例に対する

血漿交換とステロイドパルス療法……………菊池麻美・小川哲也・

樋口千恵子・大塚邦明…229-232

先天性喘鳴を契機に診断された正中頸嚢胞の一例……………長谷川茉莉・

本間 哲・志田洋子・長谷川久弥・

川島章子・世川 修・杉原茂孝…233-235

2012

Vol.82 No.4

ISSN 0040-9022

東女医大誌

J Tokyo Wom Med Univ

82巻 4号 平成24年8月

東京女子医科大学学会

SOCIETY OF TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY

回盲部悪性リンパ腫切除後化学療法中に

横行結腸穿孔をきたした1例 ……………田川寛子・吉松和彦・
横溝 肇・大谷泰介・大澤岳史・

川内喜代隆・安山雅子・小川健治・大塚邦明…236-238

■学会・研究会抄録

第78回東京女子医科大学学会総会（平成24年9月29日）……………239-242

■学位論文要旨

学位論文内容の要旨および審査の結果の要旨 第51集（3）

（平成24年1～3月）……………243-289

JOURNAL OF TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY

(TOKYO JOSHI IKADAIGAKU ZASSHI)

Volume 82 Number 4
August 25, 2012
ISSN 0040-9022

Society of Tokyo Women's Medical University
8-1, Kawada-cho, Shinjuku-ku, Tokyo, 162-8666 Japan
Tel: 81-3-3353-8111 (ext. 22314) E-mail: gakkai@hq.twmu.ac.jp

Reviews

Up-to-date Information on Research and Treatment in Endoscopic Surgery

(4) Endocrine Surgery

Masatoshi IIHARA..... 187-192

(5) Gynecological Field

Kazunori HASHIMOTO..... 193-199

Lecture: Progress in Development of Methods in Hormone Measurement

Emi ODAGIRI..... 200-207

Originals

Feasibility Study of Magnetic Particle Accumulation with a Magnetic Drug Delivery System Using a Bulk High-temperature Superconductive Magnet

Kaku IRISAWA, Yoshihiro MURAGAKI, Hiroshi ISEKI,
Masaru TOMITA and Shigehiro NISHIJIMA..... 208-215

Novel High-intensity Focused Ultrasound Therapy Using Triggered Pulse to Reduce Therapeutic Time

Akihide WADA, Nobutaka ABE, Hidekazu NAKAMOTO,
Takashi SUZUKI and Yoshihiro MURAGAKI..... 216-221

Noninvasive Measurement of Muscle Activity Using Near-infrared Spectroscopy

before and after Hemodialysis in Patients Undertaking Maintenance Hemodialysis

Junko ARAI, Shiro ICHIMURA, Takuya OSADA,
Taku ADACHI, Toshihito KATSUMURA, Sanpei MIYAKAWA,
Naoki KIMATA, Takashi AKIBA and Kosaku NITTA..... 222-228

Reports

Combination Therapy Using Steroids and Plasma Exchange for IgA Nephropathy Accompanied by Acute Endocapillary Glomerulonephritis with Cellular Crescents

Asami KIKUCHI, Tetsuya OGAWA, Chieko HIGUCHI and Kuniaki OTSUKA... 229-232

A Case of Median Cervical Cyst in Which the First Clue to Diagnosis Was Congenital Stridor

Matsuri HASEGAWA, Satoshi HOMMA, Yoko SHIDA, Hisaya HASEGAWA,
Shoko KAWASHIMA, Osamu SEGAWA and Shigetaka SUGIHARA..... 233-235

A Case of Transverse Colon Perforation during Chemotherapy after Surgery for an Ileocecal Malignant Lymphoma

Hiroko TAGAWA, Kazuhiko YOSHIMATSU, Hajime YOKOMIZO,
Taisuke OTANI, Gakuji OSAWA, Kiyotaka KAWAUCHI,
Masako YASUYAMA, Kenji OGAWA and Kuniaki OTSUKA..... 236-238

Proceeding

The 78th Annual Meeting of the Society of Tokyo Women's Medical University

(September 29, 2012)..... 239-242

Appendix

Resumes of dissertation Vol. 51 No. 3 (2012, January-March)..... 243-289

第 347 回東京女子医科大学学会例会のご案内と 奨励研究ならびに演題募集

第 347 回東京女子医科大学学会例会を下記のとおり開催いたします。つきましては、奨励研究、一般演題ならびに研修医症例報告の演題を募集いたしますのでご案内申し上げます。多数のご応募をお待ちしております。

第 347 回東京女子医科大学学会例会

日 時：平成 25 年 2 月 23 日（土）13:00～18:00（予定）

会 場：総合外来センター5 階 大会議室

- 次 第：1. 平成 24 年度授与式：山川寿子研究奨励賞（第 25 回）、佐竹高子研究奨励賞（第 21 回）
2. 前年度受賞者研究発表
3. 一般演題
4. 第 7 回研修医症例報告会

募集要項

○一般演題

〔テ ー マ〕 自由

〔発表時間〕 口演 7 分，討論 2 分（予定）

〔応募方法〕 表題，所属，演者名・共同演者名（フリガナ）を明記した本文 600 字程度の抄録の Word ファイルを、電子メールに添付してご提出ください。

※メール受信後 2～3 日以内に、受領した旨のメールを返信いたしますので、ご確認ください。

※抄録を東京女子医科大学雑誌第 83 巻 1 号（平成 25 年 2 月 25 日発行）に掲載します。

〔応募資格〕 演者・共同演者ともに本会会員に限ります。

※会員でない方は後日入会の手続きをしていただきます。

○研修医症例報告

〔テ ー マ〕 2～3 科に関連する症例 ※論文執筆と口演を行っていただきます。

〔発表時間〕 口演 5 分，質疑応答 5 分（予定）

〔応募方法〕 表題，所属，発表者名（フリガナ・メールアドレス），指導医名（メールアドレス）を明記した本文 600 字程度の抄録の Word ファイルを、電子メールに添付してご提出ください。

※メール受信後 2～3 日以内に、受領した旨のメールを返信いたしますので、ご確認ください。

※抄録を東京女子医科大学雑誌第 83 巻 1 号（平成 25 年 2 月 25 日発行）に掲載します。

〔応募資格〕 本学研修医。年次は問いません。 ※研修医以外の連名者（指導医含む）は本会会員であること。

○共通

〔提出先〕 東京女子医科大学 中央校舎 3 階 学会室／E-mail address gakkai@hq.twmu.ac.jp

〔応募締切〕 平成 24 年 11 月 15 日（木）

参 考

○奨励研究（奨励金規定より）

山川寿子研究奨励金

東京女子医科大学医学部教職員で医学の研究に従事し、その研究成果が充分期待できる者（応募当時 41 歳未満）を対象に若干名。

佐竹高子研究奨励金

東京女子医科大学医学部教職員で医学の研究に従事し、これまでの研究成果の水準が高い中堅研究者（大学卒業後 10 年以上）を対象に若干名。

推薦者は候補者氏名、推薦理由、参考資料を 10 月末日までに東京女子医科大学医学部学務課に提出のこと。

- 7) **Langebrette A, Qvigstad E**: Total laparoscopic hysterectomy with single-port access without vaginal surgery. *J Minim Invasive Gynecol* **16**: 609-611, 2009
- 8) **Kikuchi I, Kumakiri J, Kuroda K et al**: A novel modification of traditional 2-port laparoscopic surgery using a 5-mm flexible scope. *J Minim Invasive Gynecol* **16**: 734-738, 2009
- 9) **Payne TN, Dauterive FR**: A comparison of total laparoscopic hysterectomy to robotically assisted hysterectomy: surgical outcomes in a community practice. *J Minim Invasive Gynecol* **15**: 286-291, 2008

本シリーズの今後の掲載予定

執筆者	所属	タイトルまたはテーマ	掲載号
神尾孝子	外科学 (第二)	巻頭言	82 (1)
神崎正人	外科学 (第一)	(1) 胸部外科領域: 胸腔鏡下手術	82 (1)
笹川 剛	消化器外科学	(2) 消化器外科領域 ①上部消化管: 胃癌	82 (2)
板橋道朗	外科学 (第二)	(2) 消化器外科領域 ②下部消化管: 大腸癌	82 (2)
中島一朗	腎臓外科	(3) 泌尿器科領域 ①腎臓	82 (3)
飯塚淳平	泌尿器科学	(3) 泌尿器科領域 ②前立腺	82 (3)
飯原雅季	内分泌外科	(4) 内分泌外科領域	82 (4)
橋本和法	産婦人科学	(5) 婦人科領域	82 (4)
村田泰章	整形外科科学	整形外科領域	
木附 宏	戸田中央総合病院脳神経外科	脳神経外科領域	
伊関 洋	先端生命医科学研究所	内視鏡の今後の展望	

※小児外科領域は「世川 修:小児科領域における研究と治療の進歩 (12) 小児内視鏡 (腹腔鏡・胸腔鏡) 手術. 81 (5): 356-362, 2011」をご覧ください.

第78回東京女子医科大学学会総会

日 時：平成24年9月29日（土）13:15～16:00

会 場：東京女子医科大学 弥生記念講堂

挨 拶

総 会 13:17～13:30

庶務報告

会計報告

総合司会（幹事）肥塚直美

（会長）宮崎俊一

（庶務担当幹事）内田啓子

（会計担当幹事）澤田達男

平成24年度吉岡博人記念総合医学研究奨励賞授与式 13:30～13:35

平成22年度吉岡博人記念総合医学研究奨励賞受賞グループ研究発表 13:35～13:55

座長（会長）宮崎俊一

膝管内腫瘍関連分子異常の全エクソゲノム解析による同定

（¹統合医科学研究所, ²消化器外科, ³病理診断科, ⁴消化器内科, ⁵第一病理学）古川 徹^{1,2,3}, 久保木友子⁴, 羽鳥 隆², 清水京子⁴,柴田亮行⁵, 山本雅一², 小林楨雄⁵, 立元敬子⁴

シンポジウム

「東京女子医科大学の臨床研究への取り組み

—東京女子医科大学病院臨床研究支援センター設立にあたって—」 14:00～16:00

座長（東京女子医科大学病院臨床研究支援センターセンター長）石郷岡純

開会の挨拶

（東京女子医科大学学長）宮崎俊一

1. わが国の研究開発振興策

（厚生労働省医政局研究開発振興課課長）佐原康之

2. 臨床研究支援センター（iCRIC）の紹介—研究者の思いを実現するために—

（東京女子医科大学病院臨床研究支援センター）志賀 剛

3. 製薬業界からの期待

（日本製薬工業協会会長, 塩野義製薬社長）手代木功

4. 医療機器の研究・開発・普及—臨床研究支援センターに求められる機能—

（医療機器センター理事長, 同 医療機器産業研究所所長, 日本レーザー医学会理事長）菊地 眞

5. 先端医療（再生・医療機器）の実用化をパワーサポートする iCRIC

（東京女子医科大学先端生命医科学研究所教授）村垣善浩

6. 指定発言

1)（東京女子医科大学先端生命医科学研究所所長）岡野光夫

2)（早稲田大学）笠貫 宏

7. 総合討論

総括発言

（東京女子医科大学病院院長）立元敬子

学位論文

内容の要旨および審査の結果の要旨

第 51 集 (3)

(平成 24 年 1 ~ 3 月)

東京女子医科大学

東京女子医科大学雑誌 第 82 巻 第 4 号 (平成 24 年 8 月)

本集は、学位規則（昭和 28 年 4 月 1 日文部省令第 9 号）第 8 条による公表を目的として、平成 24 年 1 月より 3 月までの間に本学で学位授与した者の論文内容の要旨を収録したものである。

目 次

医学博士 掲載順位	学位授与番号	氏 名	論 文 題 名	頁
(38)	甲第 523 号	澤 村 実 紀 <small>サワ ムラ ジツ キ</small>	Is there a linear relationship between the brief psychiatric rating scale and the clinical global impression-schizophrenia scale? A retrospective analysis (CGI-SCH (clinical global impression-schizophrenia scale) を利用した, BPRS (brief psychiatric rating scale) の線型性評価に関する検討) ……………	247
(39)	乙第 2711 号	屋 宜 友 子 <small>ヤ イ トモ コ</small>	Macular microcirculation in patients with epiretinal membrane before and after surgery (黄斑上膜における手術前後での黄斑部微小循環に関する研究) ……………	248
(40)	乙第 2712 号	武 石 浩 之 <small>タケ イシ ヒロ ユキ</small>	齧歯類の脳内血管とグリア境界膜との関係について…	249
(41)	乙第 2713 号	山 下 哲 理 <small>ヤマ シタ テツ リ</small>	Serum alkaline phosphatase levels and mortality of chronic hemodialysis patients (慢性血液透析患者における血清アルカリホスファターゼ濃度と死亡との関係) ……………	250
(42)	乙第 2714 号	野 崎 大 司 <small>ノ ガキ タイ ジ</small>	CD4 T cell-mediated rejection of cardiac allografts in B-cell deficient mice (B 細胞ノックアウトマウスの組織適合抗原完全不一致心移植モデルを用いた CD4 陽性 T 細胞による拒絶反応に関する研究) ……………	252
(43)	乙第 2715 号	宮 路 博 子 <small>ミヤ ジ ヒロ コ</small>	フィブリン糊の胸膜癒着効果, 臓側胸膜肥厚に関する実験的検討……………	253
(44)	乙第 2716 号	伊 市 川 順 子 <small>イチ カワ ジュン コ</small>	Postoperative analgesic requirement in abstaining smokers and non-smokers (喫煙患者における術後鎮痛剤使用量) ……………	254
(45)	甲第 524 号	中 澤 圭 介 <small>ナカ ザワ ケイ スケ</small>	Insertion/deletion polymorphism of the angiotensin-converting enzyme considerably changes postoperative outcome (アンギオテンシン変換酵素 (angiotensin converting enzyme : ACE) の挿入/欠損遺伝子多型が人工心肺下弁疾患手術の周術期管理に及ぼす影響) ……………	256
(46)	甲第 525 号	関 口 治 樹 <small>セキ グチ ハル キ</small>	Improved culture-based isolation of differentiating endothelial progenitor cells from mouse bone marrow mononuclear cells (培養法改善によるマウス骨髄単核球から血管内皮前駆細胞 (endothelial progenitor cell : EPC) の分離法解明について) ……	257

- (47) 甲第 526 号 マス増 フチ瀧 ミツ充 ヨ世 負荷 Tl-201 心筋 SPECT における一過性左室拡大の規定因子：運動負荷とジピリダモール負荷の比較……………259
- (48) 甲第 527 号 アサ浅 ノ野 タケ武 オ夫 画像誘導下脳神経外科手術のためのマーカーレス画像重畳システムの開発……………260
- (49) 甲第 528 号 シ紫 ウン雲 トシ俊 ミ美
ソガベ部 ショウ昌 イチ一 循環水冷式バイポーラ鑷子の開発と評価……………261
- (50) 甲第 529 号 シ紫 ウン雲 トシ俊 ミ美
ソガベ部 ショウ昌 イチ一 Dopamine D2 receptor activities modulate mechanical nociceptive responses in rat prefrontal cortex (ドパミン D2 受容体活性はラット前頭前野で記録される侵害刺激応答を修飾する) ……………263
- (51) 甲第 530 号 グン郡 ジ司 カズ一 エ恵 Temporal analysis of strain rate measurements during adenosine triphosphate stress before and after percutaneous coronary interventions (経皮的冠動脈治療前後での ATP 負荷によるストレインレート測定について) ……………264
- (52) 甲第 531 号 フジ藤 イ井 アキ明 コ子 A long-term clinical study on symptomatic West syndrome with focal features (焦点性異常を持つ症候性 West 症候群における長期臨床的研究) ……265
- (53) 乙第 2717 号 コウ河 ノ野 トモ智 コ子 正常眼圧緑内障における傍中心窩毛細血管血流速度……………266
- (54) 乙第 2718 号 コ小 グレ暮 シュン俊 スケ介 緑内障早期診断のための網膜および視神経乳頭パラメータの比較……………268
- (55) 乙第 2719 号 サンノ三 ミヤ宮 ヨウ曜 カ香 Goldmann 眼圧計用ディスプレイ・プリズムチップ (Tonosafe) を用いた眼圧測定の精度の検討……………269
- (56) 乙第 2720 号 サカ坂 モト本 ヒデア英 ユキ之 糖尿病黄斑浮腫における視細胞内節・外節接合部欠損の二次元描出と視機能……………270
- (57) 甲第 532 号 ミツ三 ハシ橋 ジュン純 コ子 Intravitreal injection of erythropoietin protects retinal vascular regression at the early stage of diabetic retinopathy in streptozotocin-induced diabetic rats (ストレプトゾトシン誘発糖尿病ラットの糖尿病網膜症発症初期におけるエリスロポエチン硝子体注射の網膜血管退縮の抑制効果) ……………272
- (58) 甲第 533 号 シオ塩 ヤマ山 タカ高 ヒロ広 Intraoperative flow cytometry analysis of glioma tissue for rapid determination of the tumor presence and its histopathological grade (神経膠腫の術中迅速解析のためのフローサイトメトリーによる腫瘍悪性度判定の検討) ……………273

- (59) 甲第 534 号 オ 小 貫 建一郎 ^{スギ} ^{ケンイチロウ} Expression of N-acetylglucosaminyltransferase V in intrahepatic cholangiocarcinoma and its association with clinicopathological findings (肝内胆管癌における糖転移酵素 N-アセチルグルコサミン転移酵素 V (GnT-V) 発現とその臨床的意義に関する研究)275
- (60) 甲第 535 号 コ 小 西 良 幸 ^{ニシ} ^{ヨシ} ^{ユキ} Patterns of intracranial glioblastoma recurrence after aggressive surgical resection and adjuvant management: retrospective analysis of 43 cases (積極的摘出術を施行し得た膠芽腫 43 症例の再発形式の検討)276
- (61) 甲第 536 号 スギ 杉 林 康 ^{スギ} ^{バヤシ} ^{コウ} Molded hyaluronic-acid gel as a micro-template for blood capillaries (ヒアルロン酸ゲルを鋳型とした毛細血管再生に関する研究)277
- (62) 甲第 537 号 カナ 金 井 信 雄 ^{カナ} ^イ ^{ノブ} ^オ Fabricated autologous epidermal cell sheet for prevention of esophageal stricture after circumferential ESD in swine model (培養自家表皮細胞シートを用いた食道全周 ESD 後の狭窄予防に関する研究)279
- (63) 甲第 538 号 サ 佐 藤 裕 子 ^サ ^{トウ} ^{ユウ} ^コ Glucocorticoid therapy in Duchenne muscular dystrophy-improvement of psychomotor function (Duchenne 型筋ジストロフィーの副腎皮質ステロイド療法による運動機能と知能への影響)280
- (64) 甲第 539 号 ヨ 四 方 聖 二 ^ヨ ^モ ^{ショウ} ^ジ Longitudinal hearing analysis in vestibular schwannomas before and after radiosurgery (聴神経腫瘍に対するガンマナイフ治療前後の残存聴力に関する縦断的研究)281
- (65) 甲第 540 号 コ 小 林 豊 茂 ^コ ^{バヤシ} ^{トヨ} ^{シゲ} Transplant of rabbit corneal epithelial cell sheets cultured with automated cell culture system using cell-cartridges (セルカートリッジ型自動培養装置で作製したウサギ角膜上皮細胞シートの移植について)283
- (66) 甲第 541 号 イタ 板 垣 裕 子 ^{イタ} ^{ガキ} ^{ヒロ} ^コ Morphological and functional characterization of non-alcoholic fatty liver disease induced by a methionine-choline-deficient diet in C57BL/6 mice (メチオニン・コリン欠乏 (MCD) 食誘導性非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) モデルマウスにおける肝病態の進展に伴う形態学的・機能的変化に関する研究)284
- (67) 甲第 542 号 イワ 岩 山 大 輔 ^{イワ} ^{ヤマ} ^{ダイ} ^{スケ} Cell/tissue processing information system for regenerative medicine (再生医療事業向け細胞・組織調製情報管理システムの構築)286

- (68) 甲第 543 号 バン バ ヨシ コ
番 場 嘉 子 Preoperative evaluation of the depth of anal canal
invasion in very low rectal cancer by magnetic
resonance imaging and surgical indications for in-
tersphincteric resection (超低位直腸癌に対する
MRIによる肛門管深達度の術前評価とISRの手
術適応)287
- (69) 乙第 2721 号 アイ ザワ マサ キ
會 澤 雅 樹 Predictive value of baseline neutrophil/lymphocyte
ratio for T4 disease in wall-penetrating gastric
cancer (進行胃癌切除例における術前血中好中球
数/リンパ球数比 (NLR) と組織学的壁深達度の関
連について)288

雑 報

○編集担当幹事会

日時 平成 24 年 5 月 7 日 (月)
場所 総合外来センター中会議室
議題 東京女子医科大学雑誌 82 巻 4 号査読結果審議, 次回シリーズの報告, 英文要約校閲手順, Twinkle への掲載, その他について

○集会担当幹事会

日時 平成 24 年 4 月 24 日 (火)
場所 D 会議室
議題 第 28 回吉岡弥生記念講演会(第 346 回例会), 平成 24 年評議員会, 第 78 回総会, 第 347 回例会, その他について

編集後記

私たちは日常, 科学的な根拠に基づいた医療 (EBM, エビデンス・ベースド・メディシン) を実践しているわけですが, これに対峙する言葉に NBM (ナラティブ・ベースド・メディシン) があります。これは, もっ

と患者さんの主観である“語り”を尊重しましょう, というもので, “語り”とは, 一人ひとりの体験から生じる思いや価値観などです。1つの典型として, 「病は気から」というのがありますが, 「老いも気から」という言葉もよく耳にします。最近, 精神神経機能の変化による老いのメカニズムが分子レベルで解明されつつあります。これは自律神経, ホルモン, 免疫機構などにおける恒常性の破綻が起こるというもので, 精神的ストレスにより身体に異常を感じる頻度が増加し, 寝つきも悪くなり中途覚醒に悩まされます (小生のことです!)。先日思い立って, ウィスコンシン大学カードソーティングテスト (WCST) という高次脳機能検査で神経年齢をチェックしてみました。これはコンピューター対面式にゲーム感覚で行う簡単な検査です (http://meddic.jp/Wisconsin_Card_Sorting_Test)。皆さんも一度トライされてはいかがですか? 実際の年齢 (実年齢) に比べて神経年齢を 7~8 割くらいに若く保つことが理想的ですが, 実年齢よりも高く出るようであれば注意しましょう。

(2012.5, 玉置 淳)

編集担当幹事: 青見茂之	江川裕人	淵之上昌平	萩原誠久	檜垣祐子○	飯原雅季
今西健一	石田英樹	伊藤景一	神尾孝子	糟谷英俊	木林和彦
小谷 透	松井英雄	三木伸泰	泉二登志子◎	永木 茂	新田孝作
野中 学	大貫恭正	斎藤加代子	坂元 薫	櫻井裕之	澤田達男○
篠崎和美	杉原茂孝	田嶋 強	玉置 淳	谷口敦夫	徳重克年
内潟安子	内山真一郎	山口直人			

(ABC 順, ◎幹事長, ○副幹事長)

東京女子医科大学雑誌 82 巻 4 号: 平成 24 年 8 月 25 日発行 (偶数月発行)

Journal of Tokyo Women's Medical University Vol. 82 No. 4: August 25, 2012

発行者: 宮崎俊一

発行所: 東京女子医科大学学会

事務局: 学会室 〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学

Tel & Fax: 03-5269-7403/E-mail: gakkai@hq.twmu.ac.jp

購読料: 年会費 6,000 円を含む。1 冊定価 1,000 円 (税・送料共)

振込先: 学校法人 東京女子医科大学学会

三菱東京 UFJ 銀行 東京女子医大出張所 普通 3643723/郵便振替口座 00150-4-4342

印刷: 株式会社杏林舎 〒114-0024 東京都北区西ヶ原 3-46-10 Tel: 03-3910-4311/Fax: 03-3949-0230

広告扱い: 日本医学広告社 〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-12-8

Tel: 03-5226-2791/Fax: 03-5226-0195

* 本誌の内容を無断で複写・複製すると, 著作権・出版権の侵害になりますのでご注意ください。

東京女子医科大学雑誌投稿規定 (平成 24 年 4 月改訂)

- 1. 投稿資格:** 投稿は共著者も含め本学会員に限る。但し、本学会に籍のない共著者は会員であるかを問わない。また、準会員のみでは投稿できない。
- 2. 原稿種類:** 投稿内容は原著、総説、報告、抄録、などとする。いずれも未発表のものに限る。
- 3. 倫理:** 人を対象とした論文は、東京女子医科大学倫理委員会規程ならびに遺伝子解析研究に関する倫理審査委員会規程に則って行われた研究であり、また動物を用いた研究は本学会動物実験倫理委員会基準を遵守して行われた研究でなければならない。なお、本学会以外で行われた研究の場合は、これに準ずるものとする。
- 4. 採否・掲載順:** 原稿の採否、掲載順は編集担当幹事会において決定する。受理した原稿は原則として返却しない。
- 5. 著作権・版權:** 本誌に採用された場合、著作権は本学会に委譲され、版權は本学会に帰属する。
- 6. 転載・引用:** 既出版の図表を転載・引用する場合は必ず出典を明示する。その際、著作権の所有者の転載許可を必要とする。
- 7. 依頼原稿:** 総説は原則として編集担当幹事会の依頼によるものとし、その著者は本学会員に限定しない。掲載料ならびに別刷 50 部までを無料とする。
- 8. 抄録:** 編集担当幹事会が必要と認めた学術集会の抄録その他に関するものは有料で掲載することができる。本学会が認定した分科会の場合は刷上り 2 頁まで無料とする。
- 9. 臨時増刊:** 依頼により臨時に特別号を発行することができる。費用は依頼者の全額負担とする。
- 10. 料金:** 掲載料は普通紙で、和英論文とも刷上り原著・総説は 4 頁、報告は 2 頁まで無料、超過 1 頁につき 5,000 円とする。別刷は 50 部単位で表紙に明記し、実費とする。
- 11. 投稿締切:** 原則として偶数月 7 日を締切とする。
- 12. 提出:** 原稿 3 部、投稿申込書、チェックシート、電子媒体 (USB など) を提出する。英文論文は英文校閲証明書も提出する。投稿申込書は主任教授または指導者の承認、共著者の同意、著作権の委譲に関して証明したもの。
- 13. 校正:** 初校・再校とも著者校正を原則とする。大幅な改変は認めない。
- 14. 原稿枚数の上限**
原著・総説は刷上り 10 頁 (図表含む) 程度、図表 10 点程度とする。報告は刷上り 6 頁 (図表含む) 程度、図表 5~6 点程度とする。
- 15. 原稿の書き方:**
 - 1) 書式:** 原稿は A4 判に横書きとし、上下左右余白・行間を適宜とり、本文最初の頁に文字数×行数の設定を明記する。
 - 2) 表紙:** 表題、所属、主任または指導者氏名、著者氏名 (フリガナ)、英文表題、ローマ字著者名 (名・姓の順、姓は大文字)、英文所属を書く。
 - 3) 要旨:** 和英論文とも、和文要旨 (800 字以内)、英文要旨 (200 語以内、英単語 5 個以内のキーワード) を添える。
 - 4) 英文論文は本文・英文要旨・図表およびその説明の英文校閲を受け、その証明を添付する。**
 - 5) 構成:** 原則として、緒言、対象および方法、結果、考察、結論、利益相反、文献、図の表題と説明、図、表、の順とする。
 - 6) 図(写真)・表:** 図表およびその説明は、和英論文とも英語表記とする。図はそのまま印刷できる明瞭なものとし、修飾 (立体や網掛けなど) しない。裏面に番号、上下を記す。図の表題と説明は別紙に一括する。カラー写真・アート紙使用はその旨明記し、トレースを要する場合もともに実費を徴収する。表は横線のみで構成し、表題・説明を含めたものとする。
 - 7) 用語・単位:** 当用漢字、現代かなづかいを用いる。専門用語は学会で統一されたものを用い、略語は初出時に正式用語またはスペルを記載する。度量衡の単位、記号は国際単位系 (SI) を原則とする。
 - 8) 文献:** 次の形式で記載する。著者は 3 名まで記載し、外国人名は姓名の順とする。雑誌名の略記は医学中央雑誌および Medline に従う。
雑誌;
川村雅枝, 重本六男, 森吉百合子ほか: ラット cysteamine 十二指腸潰瘍の発生機序について. 東女医大誌 **56**: 668-676, 1986
Quimby GF, Bonnice CA, Burnstein SH et al: Active smoking depresses prostaglandin synthesis in human-gastric mucosa. *Ann Intern Med* **104**: 616-619, 1986
Jurgens HA, Johnson RW: Dysregulated neuronal-microglial cross-talk during aging, stress and inflammation. *Exp Neurol* 2010, doi: 10.1016/j.expneurol.2010.11.014, Published online (accessed on Aug 28, 2010)
単行本;
城所良明: 神経筋接合の形成. 「筋発生の細胞生物学」 (小沢英二郎, 嶋田 裕, 真崎知生編), pp259-282, 学会出版センター, 東京 (1983)
Kahn CR, Roth J: Insulin receptors in disease states. *In* *Hormone-Receptor Interaction* (Levy GS ed), pp1-29, Marcel Dekker, New York (1981)
Bargman JM, Skorecki K: Part 13. Disorders of the Kidney and Urinary Tract. Chapter 280. Chronic Kidney Disease. *In* *Harrison's Online. The McGraw-Hill Companies, New York.* <http://www.accessmedicine.com/content.aspx?aid=9130075> (accessed on Sep 5, 2011)
 - 16. 電子媒体:** USB などに原稿と図表のファイルを保存し、ソフト (version) 筆頭著者名、所属を記す。
 - 17. 連絡先:** 投稿、編集、印刷に関する問い合わせ等はすべて下記宛とする。
〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1
東京女子医科大学 中央校舎 3 階 学会室
Tel・代表: 03-3353-8111 (内線 22314)
Tel & Fax: 03-5269-7403 (直通)
E-mail address: gakkai@hq.twmu.ac.jp

東京女子医科大学雑誌～チェックシート～

平成 24 年 5 月

以下の□にすべてチェックが入った状態で投稿してください

提出書類

- 原稿 3 部
- 投稿申込書
- ＜原著の場合＞
 - 主任教授または指導者の署名
- ＜英文論文の場合＞
 - 英文校閲証明書
- 電子媒体
 - 表紙・本文（倫理審査、利益相反を含む）・文献を「本文」ファイルとする
 - 英文要旨を「英文要旨」ファイルとする
 - 和文要旨を「和文要旨」ファイルとする
 - 図・写真の説明を「図説」ファイルとする
 - 図・写真または表を「図」「表」ファイルとする
- チェックシート（本紙）

原稿書式

- A4 判用紙
- 行間 1.5 行程度あける
- ページ番号を付す
- 小見出しの番号は、1. → 1) → (1) → ①の順で使用する
- 図表箇所を原稿右余白に記す
- 略称を用いる場合、初出時に定義する
- 修飾文字（イタリック、上付き、下付き、プライム等）を指定する
- 原稿枚数の上限内である
- ＜原著と総説の場合＞
 - 刷上り頁数（図表含む） 10 頁
 - 図表 10 点
- ＜報告の場合＞
 - 刷上り頁数（図表含む） 6 頁
 - 図表 5～6 点

表紙

- A4 判用紙 1 枚におさめる
- ＜和文論文の場合＞
 - 論文の種類 ※原著／総説／報告など
 - 和文タイトル
 - 和文所属
 - 著者氏名（フリガナ）
 - 英文タイトル
 - ローマ字著者氏名 ※名・姓の順、姓は大文字
 - 英文所属
- ＜英文論文の場合＞
 - 論文の種類 ※Original／Review／Report など
 - 英文タイトル
 - ローマ字著者氏名 ※名・姓の順、姓は大文字
 - 英文所属

英文要旨

- A4 判用紙 1 枚におさめる
- 英文タイトル
- ローマ字著者氏名 ※名・姓の順、姓は大文字
- 英文所属
- 本文 200 words 程度
- Key Words（英単語 5 個以内）

和文要旨

- A4 判用紙 1 枚におさめる
- 和文タイトル
- 和文所属
- 著者氏名（フリガナ）
- 本文 800 文字程度

（裏へ）

本文構成

<総説の場合>

- はじめに Introduction
- おわりに Conclusion
- 文献 Reference

<原著の場合>

- 緒言 Introduction
- 対象および方法 Material and Method
- 結果 Result
- 考察 Discussion
- 結論 Conclusion
- 文献 Reference

<報告の場合>

- 緒言 Introduction
- 症例 Case Report
 - 患者 Patient
 - 主訴 Chief complaint
 - 既往歴 History of past illness
 - 現病歴 History of present illness
 - 血液生化学検査 Blood gases など
- 結果 Result
- 考察 Discussion
- 結論 Conclusion
- 文献 Reference

倫理審査 ※該当する場合は承認を得たことを“対象および方法”で記載してください

- 承認済
- 非該当

利益相反 ※文献の前に記載してください

<ない場合>

- 「開示すべき利益相反状態はない。」「The author(s) indicated no conflicts of interest.」などと記載する

<ある場合>

- どこから何をどれだけ受けたかを記載する

文献

- 文献引用箇所を本文中に明記する
- 文献番号は本文表出順とする
- 著者名は姓・名順とする
- 省略を表すピリオドは不要
- 雑誌名は略記する
- 終頁は省略しない (例) 正: 234-236 誤: 234-6
- その他、記述法が正しい

<雑誌の場合>

- 著者名 3名+ほか または et al : 論文のタイトル. 雑誌名の略記 巻(号) : 始頁-終頁, 発行年

<著書(和文)の場合>

- 著者名 3名+ほか : 引用章タイトル. 「書名」(編集・監修者名), pp 始頁-終頁, 出版社, 出版地(発行年)

<著書(英文)の場合>

- 著者名 3名+et al : 引用章タイトル. In 書名(編集・監修者名 ed), pp 始頁-終頁, 出版社, 出版地(発行年)

図(写真)の説明

- タイトルがある
- 説明がある
- タイトルおよび説明を英語表記とする

図(写真)

- 図・写真中の単語を英語表記とする
- 文字サイズ・フォントを考慮して作成する
- 図番号を明記する ※写真は図とする
- 希望する印刷法(カラーまたはモノクロ)を明記する
- 手札サイズの写真はA4判用紙に貼る(四隅のみ糊付け)
- 同じ図番号の場合は出来るだけ同じ用紙におさめる
- カラー印刷希望の場合は出来るだけ1頁におさめる ※出来上り1頁60,000円

<転載の場合>

- 出典元情報を明記する
- 転載許諾を得る ※転載許諾書をご提出下さい

表

- タイトルがある
- 説明がある
- 表中の単語、タイトルおよび説明を英語表記とする

署名

投稿申込書

平成 年 月 日

東京女子医科大学雑誌 編集委員長 殿

下記論文を貴誌に投稿いたします。この論文は他誌に未発表であり、また投稿中でもありません。採用された場合には、この論文の著作権を東京女子医科大学学会に委譲すること、当学会と契約を交わした Web サイトへ英文あるいは和文要旨を掲載することに同意いたします。

なお、本論文の内容に関しては、著者（ら）が一切の責任を負います。

署名

論文表題	
------	--

署名	著者全員の署名が必要です。欄が足りない場合はコピーして2枚提出して下さい。			
	①	年 月 日	②	年 月 日
	③	年 月 日	④	年 月 日
	⑤	年 月 日	⑥	年 月 日

論文種類	<input type="checkbox"/> に✓または×を入れて下さい。
	<input type="checkbox"/> 原著 <input type="checkbox"/> 総説 <input type="checkbox"/> 報告 <input type="checkbox"/> 学位申請論文 <input type="checkbox"/> ほか ()

推薦	原著・学位申請論文の場合、主任教授または指導者の署名が必要です。		
署名		所属	

連絡先	<input type="checkbox"/> 医局・教室 <input type="checkbox"/> 出張先 <input type="checkbox"/> 自宅				
氏名		所属			
住所	〒				
Tel		Fax		E-mail Address	

請求書宛名	<input type="checkbox"/> 筆頭著者名 <input type="checkbox"/> 医局・教室名 <input type="checkbox"/> ほか ()		
-------	--	--	--

請求書送付先	<input type="checkbox"/> 医局・教室 <input type="checkbox"/> 出張先 <input type="checkbox"/> 自宅		
氏名		所属	
住所	〒		

利益相反	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり
IR*登録	<input type="checkbox"/> 同意しない

※IR とは「東京女子医科大学学術リポジトリ Twinkle」(<http://ir.twmu.ac.jp/dspace/>) のこと。

IRには全文を登録します。

のない場合は同意していただいたものといたします。

学会室記入欄：

論文受付日 年 月 日

論文受理日 年 月 日

受付番号



気管支喘息治療薬・アレルギー性鼻炎治療薬
ロイコトリエン受容体拮抗薬

〈薬価基準収載〉

シングレア[®] **5mg**
錠 10mg

SINGULAIR[®] (モンテルカストナトリウム錠)
(montelukast sodium, MSD)

本剤のご使用にあたり、【効能・効果】、【用法・用量】、【禁忌を含む使用上の注意】、【用法・用量に関連する使用上の注意】等については、製品添付文書をご参照ください。



製造販売元【資料請求先】
MSD株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア
<http://www.msd.co.jp/>

Kyorin 



**ONCE
DAILY
KIPRES**

ロイコトリエン受容体拮抗剤
気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤

薬価基準収載

キプレス錠5mg

キプレス錠10mg

KIPRES Tablets 5mg KIPRES Tablets 10mg

一般名:モンテルカストナトリウム〔JAN〕

ロイコトリエン受容体拮抗剤
気管支喘息治療剤

薬価基準収載

キプレス細粒4mg

キプレスチュアブル錠5mg

KIPRES Fine Granules 4mg KIPRES Chewable Tablets 5mg

一般名:モンテルカストナトリウム〔JAN〕

●効能・効果、用法・用量、用法・用量に関連する使用上の注意、禁忌を含む使用上の注意等につきましては添付文書をご参照下さい。

製造販売元

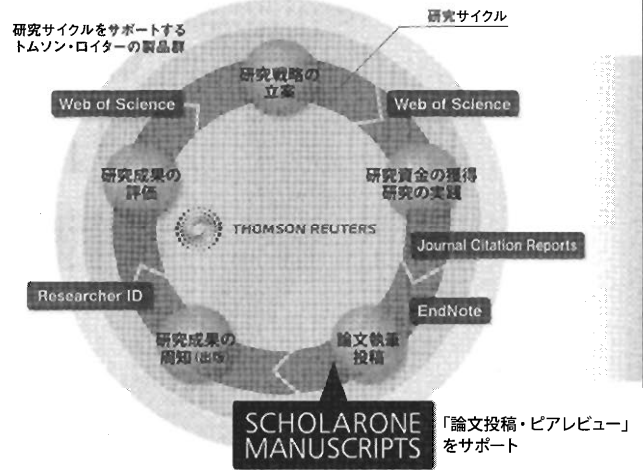
杏林製薬株式会社

東京都千代田区神田駿河台2-5(資料請求先:くすり情報センター)

SCHOLARONE MANUSCRIPTS™は、 世界で4,500誌以上のジャーナル、450以上の学協会 で採用されているオンライン投稿・査読システムです。

ScholarOne Manuscriptsとは…

インパクトファクターやWeb of Science®、EndNote®で世界的に知られるトムソン・ロイター社が開発したオンライン論文投稿・査読システムScholarOne Manuscriptsは、研究サイクルの中での論文投稿とピアレビューをサポートするツールです。学術論文の投稿・査読の処理を便利に一元管理することが可能です。



多くのユーザーから選ばれる理由

直感的で分かりやすいインターフェイス、豊富な機能、柔軟なカスタマイズ性…。選ばれる理由はさまざまですが、他のシステムとの大きな違いは「お客さまのご負担を限りなく少なくし、よりよいジャーナル出版のお手伝いをする」という明確なポリシーのもと、フルサポートでご提供しているという点です。現在、世界で4,300誌以上のジャーナル、450以上の学協会にご利用いただいております。

構築から運用、管理までフルサポート！

長年、多くの学協会様へ提供してきた実績と経験から、あらゆる問題解決に向けて最適な対処やご提案ができるよう、万全の体制が整っています。サイト構築やカスタマイズも経験豊かなスタッフがご要望をお伺いし、設定を行ったうえでお渡ししております。

また、サイト構成や設定変更等も弊社にて管理しますので、お客様の担当者が変更になる場合も、混乱なくスムーズに引き継ぎが行えます。



総代理店

株式会社 杏林舎

〒114-0024 東京都北区西ヶ原 3-46-10

TEL 03-3910-4311

E-mail info-s1@kyorin.co.jp

<http://www.kyorin.co.jp/scholarone>

SCHOLARONE MANUSCRIPTS™

オンライン投稿・査読システム

新発売

骨粗鬆症治療剤(活性型ビタミンD₃製剤)
劇薬 処方せん医薬品[※]

薬価基準収載

エディロール[®]カプセル 0.5 μ g
0.75 μ g
EDIROL[®]

エルデカルシトールカプセル
注)注意-医師等の処方せんにより使用すること

©中外製薬株式会社登録商標

※「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等詳細については、添付文書をご参照ください。



製造販売元 (資料請求先)



CHUGAI

中外製薬株式会社

〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1

Roche ロシュ グループ



発売 [資料請求先]

大正富山医薬品株式会社

〒170-8635 東京都豊島区高田3-25-1

2011年4月作成



GlaxoSmithKline

生きる喜びを、もっと
Do more, feel better, live longer



新発売

持続性選択H₁受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤 薬価基準収載

処方せん医薬品(注意-医師等の処方せんにより使用すること)

ザイザル[®]錠5mg
Xyzal[®] Tablets 5mg レボセチリジン塩酸塩錠

「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」、「用法・用量に関連する使用上の注意」等については、添付文書をご参照ください。

製造販売元(輸入)

グラクソ・スミスクライン株式会社

〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-6-15

グラクソ・スミスクラインの製品に関するお問い合わせ・資料請求先

TEL : 0120-561-007 (9:00~18:00/土日祝日および当社休業日を除く)

FAX : 0120-561-047 (24時間受付)

2010年12月作成



プリストル・マイヤーズ株式会社

抗悪性腫瘍剤

(チロシンキナーゼインヒビター)

薬価基準収載

一般名:ダサチニブ水和物

スプリセル[®]錠20mg

スプリセル[®]錠50mg

SPRYCEL[™]

dasatinib

劇薬 処方せん医薬品[※]

(注意-医師等の処方せんにより使用すること)

効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については、製品添付文書をご参照ください。

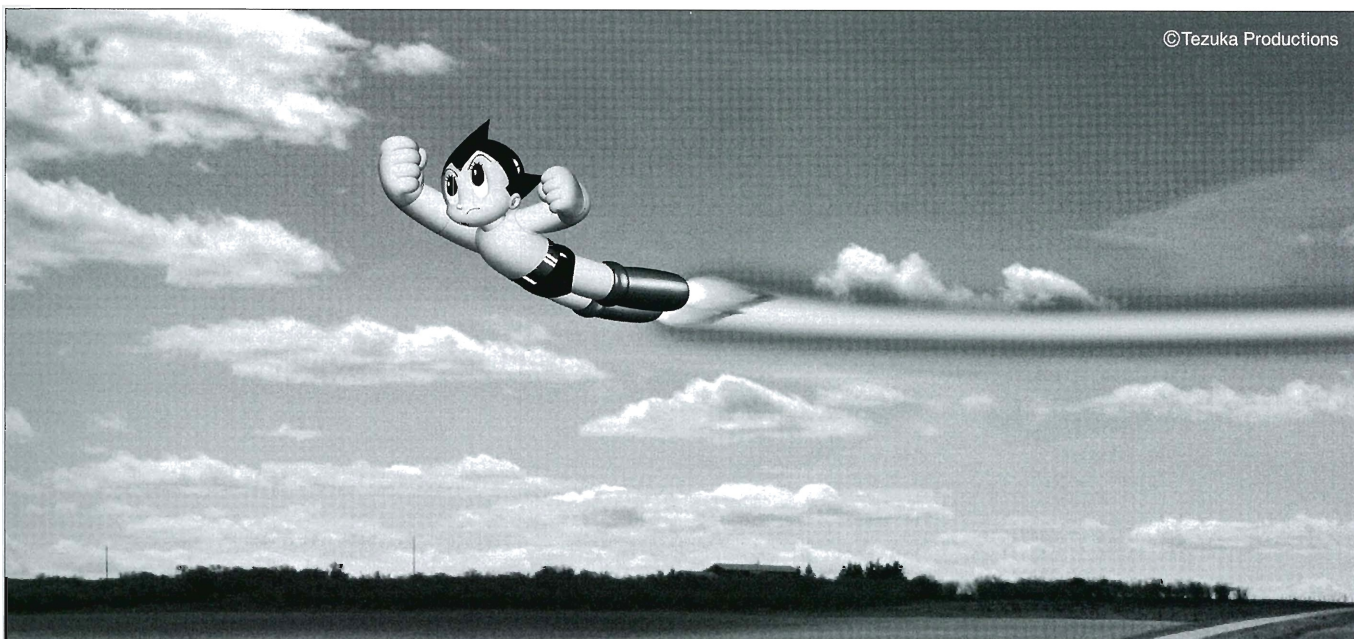
資料請求先

プリストル・マイヤーズ株式会社

メディカル情報部

TEL.0120-093-507

2010年3月作成



製造販売元



エーザイ株式会社

東京都文京区小石川4-6-10

商品情報お問い合わせ先: お客様ホットライン

☎0120-419-497 9~18時(土、日、祝日9~17時)

●効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意については、添付文書をご参照ください

PRT1011M07

処方せん医薬品

注意—医師等の処方せんにより使用すること

プロトンポンプ阻害剤

[薬価基準収載]

パリエット® 錠10mg
錠20mg

〈ラベプラゾールナトリウム製剤〉 www.pariet.jp

新発売



選択的直接作用型第Xa因子阻害剤

イグザレルト® 錠 10mg
15mg

Xarelto®

(リバーロキサバン錠)

薬価基準収載

処方せん医薬品 (注意—医師等の処方せんにより使用すること)

「効能・効果」、「用法・用量」、「警告・禁忌を含む使用上の注意」、「用法・用量に関連する使用上の注意」等詳細については、製品添付文書をご参照ください。

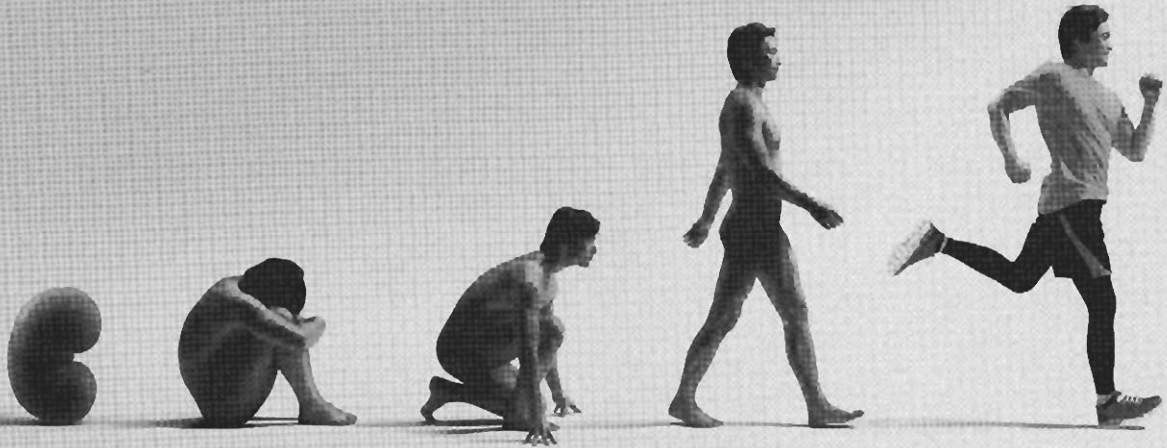


資料請求先

バイエル薬品株式会社

大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001

<http://www.bayer.co.jp/byl>



免疫抑制剤 (mTOR阻害剤) 薬価基準収載

サーティカン錠 0.25mg
0.5mg
0.75mg

薬価基準収載

【製薬】 処方せん医薬品 注意—医師等の処方せんにより使用すること

CERTICAN® エベロリムス錠

サーティカンホームページ <http://www.certican.jp>

急性拒絶反応抑制剤 (抗CD25モノクローナル抗体)

シムレクト® 薬価基準収載
注射用 20mg

生物由来製品 薬価基準収載

【製薬】 処方せん医薬品

注意—医師等の処方せんにより使用すること

SIMULECT® バシリネシマブ (遺伝子組換え) 注射用

シムレクトホームページ <http://www.simulect.jp>

免疫抑制剤 (カルシニューリンインヒビター) 薬価基準収載

ネオーラル® 10・25・50mgカプセル
内用液10%

薬価基準収載

【製薬】 処方せん医薬品 注意—医師等の処方せんにより使用すること

Neoral® シクロスポリン製剤

ネオーラルホームページ <http://www.neoral.jp>

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌、使用上の注意等については、製品添付文書をご参照ください。

製造販売 (資料請求先)
ノバルティス ファーマ株式会社
東京都港区西麻布4-17-30 〒106-8618

NOVARTIS DIRECT
0120-003-293
受付時間：月—金 9:00—17:30
(深夜日及び土日祝日を除く)
www.novartis.co.jp